３０年度理事長運営方針

本県も東日本大震災から７年が経過しましたが、いぜん多くの方々が県外などへ避難している状況が続いております。避難区域の解除範囲は広がっているものの、帰還者が少なくしかも若年層の帰還が様々な要因で進んでおりません。そのような影響は青少年活動にも大きな影響を与えています。

昨年は、第１回日本ジャンボレットが茨城県の高萩スカウトフィールド(大和の森)で開催され、本連盟からも参加隊・見学隊を派遣し多くの体験を持ち帰ることができました。

福島連盟の加盟員の減少はいまだ止まらず、今年は県連盟総ぐるみ運動としてスカウト人口の基盤となるビーバー隊・カブ隊の強化を図る運動を展開していかなければなりません。そのために、指導者は全力を挙げてより良いプログラムの提供と指導者としての資質の向上に取り組む必要があります。この難局を打開するにはスカウト運動に関わる私たち指導者一人一人の自覚と努力しかありません。指導者の英知を結集し対応していきたいと思います。

今年は６月１０日に南相馬市を主会場に第６９回全国植樹祭が開催予定で、本連盟にも奉仕の要請が来ております。また、第１７回日本スカウトジャンボリーが石川県能登の珠洲市で開催されます。これらの行事にも積極的に参加していきます。

福島連盟も来年創設７０周年を迎えます、そのための準備も今年より準備委員会を立ち上げ始めます、皆様のご協力をお願いいたします。

念願だったボーイスカウト福島連盟振興会が３月に設立されました。福島連盟を財政面から支援する会です。会の発展拡充のためにも各指導者、関係者の協力が不可欠です。よりよい県連の運営が確立されますようになお一層のご協力をお願いいたします。

◎重点目標

・加盟員拡大・組織拡充に向けた取り組みと県連盟組織のさらなる活性化を目指します。
・地区、団並びに指導者への支援、地域への活動支援の強化を推進します。
・第１７回日本スカウトジャンボリー、第１３回日本アグーナリー、県連盟創設７０周年行事への取り組みを推進します。

◎重点施策

・地区、団、隊への支援体制と組織強化月間を活用したスカウト増員への協働体制確立
・指導者のスキルアップ体制構築(トレーナーとの協働)
・福島連盟振興会活動の支援
・財政確保の推進と予算の有効活用

・理事・委員会役員の役務理解と実践活動の推進
・コミッショナーグループとトレーニングチームの組織充実と協働
・各委員会事業の点検と見直し検討
・全国植樹祭、第１７ＮＳＪへの取り組み強化
・１３ＮＡ開催に伴う日本連盟・ブロック間の協力体制の確立